

HPVワクチン副反応 私が受けた被害

梅本美有

自己紹介

梅本 美有 (26)

福岡県 北九州市 出身。

小学校低学年頃までは気管支が弱かったが、それ以降は健康体で病院とはほぼ無縁の生活を送る。

生徒会・美術部所属。

2012.10 ガーダシル1回目 (中学3年)

2012.12 ガーダシル2回目 (中学3年)

2013. 5 ガーダシル3回目 (高校1年)



接種のきっかけ

〈パンフレット〉

- 学校で配布
- 子宮頸がんを予防できる
- 副反応は軽いもの



〈病院〉

- 詳しい説明なし
- ガーダシル or サーバリックス
- 副反応は大したことはない

子宮頸がんってなにが原因？
ガンがワクチンで防げるの？

現れた症状

3回目の3日後 左足の付け根に激痛 → 足全体に広がる
(学校送迎・体育見学)
3ヶ月ほど続く…

それから1年のうちに、皮膚湿疹・失神寸前の
生理痛・動悸など様々な症状が現れ始める

現れた症状

高校2年生夏

ほぼ毎日のように吐き気。倦怠感を感じる事が多く、家に帰っても制服のまま寝込むことも毎日鼻血が出るように

高校2年生冬

だんだんと朝起きられなくなる
身体中の血液が鉛になったかのような倦怠感
ふらつき、激しい頭痛・吐き気により登校が困難に

医療機関を受診するも... 「気のせいでしょう」「吐き気は便秘のせい」
「学校で何かいやなことでもあった？」

おかしくなっていく身体

不穩 恐怖 症状

自分の身体に何が起きているのか…？

これからどうなってしまおうんだろう？

学校での対応

学校に保健室登校やレポート提出で単位取得できないか相談

しかし...「授業があっている教室にいないと単位はあげられない」
「進級はできても今の体調では卒業できないでしょ」

普通に生活をしていたのになぜ自分が？

部活も楽しいし、友達との学校生活も充実していた
それなのになぜ自分が退学しないといけないのか…



高校3年生4月

県立高校から私立の単位制高校に転学

気付き

それまでは原因がまったくわからなかった

【母が持ってきた記事】

同じような症状を抱える女の子たちがいる

みんな子宮頸がんワクチンを打ったあとになった



！点と点が繋がった！

自分もワクチン接種後から身体がおかしくなり始めて

彼女たちと同じような症状が出ている！

ショックよりも安堵感、治療への期待

現れた症状

高校3年生

厚生労働省に電話をして、紹介された県外の
協力医療機関に検査入院
様々な精密検査をしたが、異常は見つからず
鎮痛効果のある向精神薬を含め、痛み止めを
様々試すが効果はなし⇒**治療法がない**

卒業後

大学入試できるほどの状態ではないため、浪人して
受験を見送ることを決意
昔からの夢であった保育士の道を諦める…

裁判へ

国も被害者を「**心身の反応**」として実質放置



**このままでは、身体がもとに戻らないまま
見殺しにされてしまう**

2016年 原告として国・製薬企業2社を提訴

今までのように健康な体に戻って普通の暮らしがしたい

現れた症状

大学1~4年

1~2年生の間は、ほぼ車椅子での通学
休みがちなので出席日数がギリギリ

4回、鹿児島大学病院に入院し

脳に炎症が見つかる

ステロイドパルス・免疫吸着療法を行う

自由診療

ビタミンC点滴、針灸・Bスポット療法など
様々な治療を試すが、劇的な改善はないまま

現れた症状

- 2021年4月～
(就職1年目) 市役所の障がい者枠を合格し、働き始める
しかし、勤務中も身体の痛みや激しい倦怠感
に襲われるため早退・欠勤を繰り返す
- 11月 入職後わずか半年で病休・休職
- 2022年1月 鹿児島大学病院に入院 (4回目の免疫吸着療法)
→一時的に改善

現れた症状

2022年4月～
(就職2年目)

半年間の休職を経て、職場復帰
身体の痛みがとても激しく寝込んだり
一週間のうち2～3日程度しか出勤でき
ないときも

2022年12月

体調がどんどん悪化し、仕事をするこ
とに限界を感じ、退職

楽しく、やりがいもあった。辞めたくなかった。

現れた症状

2024年6月～ A型事業所（基本在宅）
週に3～4日5h 、デザイン業務
再就職への不安…

周りの友だち⇒社会人5年目
立派に働いて自立して生活している。私を含め
被害者の多くは大人になっても取り残されたまま

痛み

痛くない身体を思い出せない

様々な種類の激しい痛み

(ズキズキ・ピキッ・ピリピリ・ドクンツ…)

頭痛・関節痛・腹痛・生理痛 あらゆる場所の痛み

薬が全く効かない

カロナル・リリカ・トリプタノール…

向精神薬含む痛み止めを数十種類試す→効果なし

急に痛みが酷くなる

痛みが落ち着いていても、10分後、2時間後

いきなり痛みが酷くなり動けないことも

痛みが常に"ある"ことに慣れてしまうほど

2016年（18歳）

お腹～腰 あり得ないほどの痛みで吐く

「死にそう」と仕事中の母に連絡し救急車を手配してもらい救急搬送

CTなど検査するも異常ナシ

HPVワクチンの副反応で…と伝えると点滴が終わったら帰ってくださいと言われる。酷い痛みは二週間以上続いた。

2021年3月（23歳）

就職も決まり、春休みのうちにいろいろやろう！

首の痛みで一か月寝たきり状態に。

視線を左右に動かすだけでも激痛が走る、横になっても激痛が続く

卒業式にはどうしても行きたかったので、車いすでなんとか連れて行ってもらう。

式には出れず→友達と挨拶をして先生方に感謝を伝えられた

2024年5月（26歳）

就寝前、脳をかき回されるような頭痛が発生

（いつもなら1時間で治まるはず…）

痛みが酷くなり、吐き気も出てきたので救急搬送される

CT検査を受けるも異常はなし

痛み止めの点滴で少し痛みが治まってくる

この後から、再び光過敏が酷くなりはじめ、サングラスを常用。

耐えがたい痛みが続くとき...

**このままこの痛みが続くなら
誰か殺してくれないだろうか**

倦怠感

いきなり

朝起きられなくなる

何倍もの重力がかかっているかのような倦怠感

1日に何度も

急に倒れそうなほどの倦怠感に襲われ、動けなくなることも多い

粘膜異常

湿疹（手・背中・臀部・顔）

蕁麻疹

大量の鼻血

口内炎





私に現れた症状（20種類以上）

頭痛・腹痛・眼痛・全身の激しい痛み・吐き気
倦怠感・睡眠障害(過眠)・眩暈・ふらつき・震え
頻尿・筋力低下（27▶2▶12）・湿疹・痙攣・起立
性調節障害・動悸・光過敏・匂い過敏・口内炎・
脱力・集中力低下・息苦しさ・大量の鼻血・激し
い生理痛・便秘下痢の繰り返し・言葉がすぐに出
ない

命こそ奪われてはいない
けれど、人生を奪われた

どこにでもいる中学生だったわたし
ガンが予防できると信じて、国が勧めるワクチンを接種した



たくさんの症状、耐えがたい痛み
学校へ行けない・働けない身体
医療・国・社会への不信感
孤立・絶望

これ以上同じ苦しみを誰かに与えないで

積極的接種勧奨が再開となり、新たな被害者が増えている。
10年前自分たちが味わった地獄を繰り返してほしくない。

いま、この副反応被害を知らない人があまりにも多い。
接種する人・保護者・そして医者でさえこのワクチンに関する
問題を知らず、世間が無関心である。
私は、責任ある大人として、二度と子供たちに自分たちと
同じ苦しみを味わせてはいけないと強く思う。